



1学期もあと1週間で夏休みに！

対面で学べる喜び、いつまでも

6月1日(月)より学校が再開し、2ヶ月が経過しました。その間、本校では、徐々に通常の形態での授業にシフトしてきました。現在東京をはじめとする多くの地域で感染者が増加しており、様々な社会的対策が講じられています。

本校では、県が発表している「コロナとのつきあい方滋賀プラン」や一週間ごとに発表している「地域の感染レベル」を指標としながら「学校の新しい生活様式」に基づき今後も教育活動を行っていきます。



そのような中で、7月となった1学期後半も子ども達は様々な学びや活動を行ってきました。今年度

本校では毎月10日を「校内人権の日」と設定し、子ども達への人権啓発に取り組んでいます。1年生では、自分たちの行動を短冊に書き、その行為がどうであったかを振り返ることで、相手を思いやる心を育てています。この取組をはじめとしながら「自分の思いが言える」、「相手を受け入れる」ことができる学級集団の育成に力努めていきたいと考えています。



さて、8月8日(土)より夏休みが始まります。今年は、23日(日)までと短いです。自分の計画のもとに課題を進め、1学期の学びを定着させてください。また、保護者・地域の皆様には、22日(土)の環境整備作業には大変お世話になりますが、よりよい環境のもとで2学期が迎えられるようご協力をよろしくお願いいたします。



校舎改築から30年がたちました

現校舎が平成元年6月2日に工事が開始され、翌平成2年3月24日に竣工式を迎えました。平成2年は1990年です。現校舎は、30年の歴史を刻みました。右の写真は、その竣工の際に、「教育施設整備促進委員会」が記念に作られた文鎮です。本校の校章がデザインされています。このような品を見ていますと、地域の先人達がいかに教育に心血を注いでくださったかが窺われます。我々は、その熱き思いを胸に刻み、子ども達の教育に精進していきたいと思えます。



本校卒業生の著書「会社再建」を読みました

本校卒業生である福永正三氏が書かれた『会社再建』という著書を知人から紹介していただき、読ませていただきました。福永正三氏は、本校を昭和25年3月に卒業されています。

福永氏が京セラ蒲生工場から、関連会社の富岡光学(東京都青梅市)へ出向し、会社を再建するについてのドキュメントが描かれています。当時の富岡光学は、レンズの技術は一流でしたが、経営がうまくいっておらず、毎月1億円の赤字を出していたようです。京セラフィロソフィーをもとにししながら「人の意識を改革する」ことを主題として、その会社の再建に取り組まれました。

私は「学校教育と通ずるものがある」と思いながら読んでいきました。最後に「人生は種まきだと思う。だからこそ、よい種をまいて生きていきたい。」と結ばれています。まさしく、魂の人であると感じました。本校の同窓生にこのような方がおられることを誇りに思います。



〈文責 校長 正野新造〉